

「志願票」「あて名票」「受験票・写真票」作成上の注意

1. 共通の注意事項

- ・黒または青のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと(未記入提出と同様の扱いになる)。
- ・誤って記入した場合は、誤記入箇所を二重線で消し押印もしくはサインのうえ、余白部分に正しい情報を記入すること。
- ・募集要項をよく読み、記入すること。

2. 志願票の注意事項

- ・入学志願票は「世界言語社会専攻用」と「国際日本専攻用」があるので間違わないこと。
- ・「受験区分」の社会人特別入試は、出願時において3年以上の社会人としての経験を有し、かつ、2026年3月31日までに27歳に達する者でなければ出願できないので注意すること。なお、秋季募集においては、国際日本専攻の社会人特別入試は実施していない。
- ・世界言語社会専攻志願者は、「選択受験科目」を記入すること。
- ・「フリガナ」はカタカナで、「氏名」は漢字(漢字名がない者はアルファベット)で記入すること。
- ・研究テーマは、50字以内(英語の場合は25語程度)を目安として記入すること。なお、記入する内容は「研究テーマ」であって、具体的な研究内容を記入しないこと。
- ・希望指導教員は、本学Webサイトの「研究者一覧」などを参考にし、志望コースを担当する教員を選択すること。
- ・国際日本コース志願者は、必ず「希望指導教員名」を記入すること。
 - ※希望指導教員名を記入するにあたって、事前に該当する教員の承諾を得る必要はない。
 - なお、必ずしも記入した希望指導教員の指導が受けられるとは限らない。



研究者一覧

- ・言語文化コース及び国際社会コース志願者の「希望指導教員名」記入は、任意である。
 - ※志望コースを担当する教員でない教員名を書いた場合や空欄の場合は、希望指導教員はいないものとして処理する。
- ・国際社会コース志願者は、必ず「研究対象地域名」を記入すること。
- ・現住所、連絡先は、本学からの問い合わせに確実に対応できる情報を記入すること。日本国外在住の志願者においては、連絡先に国内在住の代理人の情報を記入すること。
- ・E-mailは、丁寧かつ正確に記入すること。特に、数字とアルファベットの違いやー(ハイフン)と_ (アンダーバー)の違いが明確に判別できるように記入すること。記入が不正確な場合、重要な連絡が届かない可能性があるため注意すること。
- ・国籍が日本ではなく、在留資格が「留学」以外の者は、履歴書の「在留資格」の{その他}の欄に、在留資格を明記すること。但し、日本国外に在住している者等で「在留資格」を有しないものは、記入する必要はない。
- ・「出願資格」の年月日は、卒業(見込)証明書の卒業(見込)年月日を記入すること。卒業見込証明書で日の記載がない場合は、該当月の末日を記入すること。
 - また、{学部}{学科}{課程}については、出身大学により「学群」「学類」等に適宜修正してよい。
- ・アルバイトやパートタイム勤務・その他非常勤の者および学生は{無職または非常勤等}に分類される。
- ・国際日本コースの志願者で日本国外在住の者は、入学志願票表面下の「口述試験方法の選択」を必ずチェックすること。
- ・裏面の「履歴書」は、全員記入すること。
- ・「学歴」の初等教育、中等教育、高等教育において、入学年月から卒業年月の期間と修業年限に相違がある場合は、その理由を別紙に記入の上、併せて提出すること。
 - ※大学の入学・卒業年月は、提出する各種証明書の記載に合致するよう記入すること。
- ・記入欄に書ききれない場合は、適当な別紙に記入し、添付して提出すること。

3. あて名票の注意事項

- ・郵送先のポストと同じ氏名表記でない場合、郵送物が投函されないケースが報告されている。必ず郵送先のポストの表記にあわせて記入すること。
 - ※代理人を通して出願する者は、ポストの表記を確認することも含め、上記を必ず代理人へ伝達すること。

4. 受験票・写真票の注意事項

- ・氏名(フリガナ)の表記は、志願票と同じ表記で記入すること。